慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	デジタル教科書・教材が目指す姿の可視化 : デジタル教科書教材協議会ビジョンを事例に
Sub Title	The visualization of what digital textbook and teaching heads for : "DiTT Vision" as a case
Author	中山, 沙織(Nakayama, Saori) 中村, 伊知哉(Nakamura, Ichiya)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2011
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	今日、世界中でデジタル教科書の開発・普及が急がれている。韓国では2013年に全ての小中学生にデジタル教科書を配布することを目指し、アメリカのカリフォルニア州では高校生向けデジタル教科書コンテンツの無償配布が行われている。しかし日本は、ようやく2020年にデジタル教科書を配布すると決定したところである。それでは遅いと考え、「2015年に全ての小中学生がデジタル教科書・教材を使える環境を整える」という目標を掲げて活動しているのが、デジタル教科書教材協議会(DiTT)である。 本研究の目的はまず、DiTT が目指すデジタル教科書・教材の目指す姿、すなわち要件を考察し、可視化することである。そのために、DiTT vision 201Xというアニメーションの制作によるイメージの映像化を行い、そのプロセスを検証した。そして、DiTT vision 201Xの一例を実践するために、2つのワークショップの設計・実施した。 本研究の成果は、デジタル教科書・教材の目指す姿を可視化することで、特定企業からの支持を得たことである。そして、「デジタル端末を用いた未来の授業モデルの実践」を目的としたワークショップと、「協同制作によるデジタルコンテンツ制作」を目的としたワークショップの開発・実施により、DiTT vision 201Xで映像化したデジタル教科書のイメージを実践することができた。 本論文では、DiTT vision 201X がどのような過程によって制作されたか、ワークショップの開発から実施までのプロセスと、どのような成果が生まれたかの考察を行う。
Notes	修士学位論文. 2011年度メディアデザイン学 第184号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002011-0184

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2011年度　修士論文

デジタル教科書・教材が目指す姿の可視化

-デジタル教科書教材協議会ビジョンを事例に-

中山　沙織

慶應義塾大学大学院

メディアデザイン研究科

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士 (メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

中山 沙織

指導教員:
中村 伊知哉 教授 (主指導教員)
大川 恵子 教授 (副指導教員)
審査委員:
中村 伊知哉 教授 (主査)
大川 恵子 教授 (副査)
砂原 秀樹 教授 (副査)

デジタル教科書・教材が目指す姿の可視化
-デジタル教科書教材協議会ビジョンを事例に-

内容概要

今日、世界中でデジタル教科書の開発・普及が急がれている。韓国では 2013 年に全ての小中学生にデジタル教科書を配布することを目指し、アメリカのカリフォルニア州では高校生向けデジタル教科書コンテンツの無償配布が行われている。しかし日本は、ようやく 2020 年にデジタル教科書を配布すると決定したところである。それでは遅いと考え、「2015 年に全ての小中学生がデジタル教科書・教材を使える環境を整える」という目標を掲げて活動しているのが、デジタル教科書教材協議会(DiTT)である。

本研究の目的はまず、DiTT が目指すデジタル教科書・教材の目指す姿、すなわち要件を考察し、可視化することである。そのために、DiTT vision 201X というアニメーションの制作によるイメージの映像化を行い、そのプロセスを検証した。そして、DiTT vision 201X の一例を実践するために、２つのワークショップの設計・実施した。

本研究の成果は、デジタル教科書・教材の目指す姿を可視化することで、特定企業からの支持を得たことである。そして、「デジタル端末を用いた未来の授業モデルの実践」を目的としたワークショップと、「協同制作によるデジタルコンテンツ制作」を目的としたワークショップの開発・実施により、DiTT vision 201X で映像化したデジタル教科書のイメージを実践することができた。

本論文では、DiTT vision 201X がどのような過程によって制作されたか、ワークショップの開発から実施までのプロセスと、どのような成果が生まれたかの考察を行う。

キーワード

デジタル教科書、DiTT、デジタルえほん、協同制作、ワークショップ

慶應義塾大学大学院　メディアデザイン研究科

中山　沙織

The Visualization of What Digital Textbook and Teaching Heads for
-"DiTT Vision" as a Case-

Abstract

The development of digital textbook is being carried out rapidly all over the world. Korea aims at something to equip all elementary and junior high school students with digital textbooks by 2013. California in America distributes the contents of digital textbook among high school students free. However, Japanese government has just decided to equip the digital textbooks by 2020. Association of Digital Textbook & Teaching (DiTT) thinks the goal of the Japanese government is too late and is functioning to achieve Japanese government's aim by 2015.

The purpose of this research is to visualize what digital textbook and teaching heads for and share it. So I created "DiTT vision 201X" which is an animation and inspected it. In addition, I planed and had two workshops to implement some parts of DiTT vision 201X.

This research won the sympathy of DiTT members. Children created the contents with computers in the workshop whose purpose was to implement the future class with computers. And through the workshop whose purpose was to collaborative creation of the digital picture books, I found the possibility of increasing of the idea by collaborative creation.

In this thesis, I will describe the creation process of DiTT vision, the process from development to implementation of workshops and the result of them.

Key words:
Digital Textbook, DiTT, Digital Picture Book, Collaborative creation, Workshop

Graduate School of Media Design, Keio University
Saori Nakayama